

クラスタ内の「Configuration Master」VCSに障害が発生した場合、またはVCSがサービスを停止した場合でも、コールを発信できますか。

内容

[概要](#)

[クラスタ内の「Configuration Master」VCSに障害が発生した場合、またはVCSがサービスを停止した場合でも、コールを発信できますか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco TelePresence Video Communication Server Expressway に関連しています。

Q.クラスタ内の「Configuration Master」VCSに障害が発生したり、VCSがアウトオブサービスになったりしても、コールを発信できますか。

A. あります。マスターVCSは、クラスタ内のVCSの設定変更を管理するためだけに使用されます。

ただし、クラスタ内のいずれかのVCSに障害が発生した場合、そのVCSに登録されているエンドポイントは、クラスタ内の他のVCSの1つに再登録してからさらにコールを発信する必要があります。H.323エンドポイントは別のVCSに自動的に再登録する必要がありますが、ほとんどのSIPエンドポイントは手動で再設定する必要があります。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。